事業者向け　放課後等デイサービス自己評価表　令和７年　３月

チェック項目		はい	どちらともいえない	いいえ	改善目標、工夫している点など
①	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	○			利用人数に応じてスタッフ配置しています。屋外活動も積極的に入れています。
②	職員の配置数は適切であるか	○			人員配置は児童利用人数に合わせて配置するようにしています。
③	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか	○			段差なく、車いすの方は移動できるが少し狭さがあります。
④	業務改善を進めるための PDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか	○			日々の情報共有とカンファレンスに課題等を改善に向けて話し合いをしています。
⑤	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	○			アンケートにて保護者からいただいた意見は業務改善するよう努めています。
⑥	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	○			ホームページで公表しています。
⑦	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか			○	現在までは実施しておりません。
⑧	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	○			事業所内での研修を行っている。
⑨	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	○			家族からの聞き取りをもとに計画書作成を行っています。
⑩	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか		○		アセスメントツールは独自のものを使用しています。
⑪	活動プログラムの立案をチームで行っているか	○			活動プログラムは専門職を中心に職員間で意見を共有し、決定して行っています。
⑫	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	○			季節に合わせた活動や屋外活動、機能訓練を兼ねた活動を行っています。
⑬	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか	○			時間帯に応じて課題やイベントを変えながら支援を行っています。
⑭	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて放課後等デイサービス計画を作成しているか	○			個別活動と集団活動による支援が行えるよう、組み合わせた計画作成をしています。
⑮	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	○			日々のミーティングで共有しています
⑯	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	○			支援終了後に共有しています。翌日のミーティングでも共有を行っています。

⑰	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	○			日々の記録をとって保護者と共有しています。支援に対しての検証・改善は都度実施している。

⑱	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性判断しているか	○			半年に１回モニタリングを行うことで定期的に見直しを行っています。
⑲	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせて支援を行っているか	○			活動は目的をもって実施しています
⑳	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	○			管理者または責任者が参加しています。
㉑	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか	○			学校とは連絡調整行えています。 送迎時に様子の共有を行っています。
㉒	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか			○	現在受け入れはしておりません。
㉓	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか	○			利用前に関連事業所と情報共有をし 児童については理解を深めています。
㉔	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか			○	卒業生がいないためできておりません。
㉕	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	○			必要に応じて支援センターや学校・相談支援事業所等の関連機関との連携を図り解決に至っています。
㉖	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか		○		他事業所との交流は積極的に交流する機会を作っています。
㉗	（地域自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか		○		可能なときに参加しています。
㉘	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	○			記録や送迎時に様子を伝えています。
㉙	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか			○	ペアレントトレーニングは行えておりません。
㉚	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	○			管理者が契約時説明しています。

㉛	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っています。	○			保護者からの相談に対しては、管理者が対応し職員間で話し合い、支援を行えるよう努めています。
㉜	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか			○	昨年の保護者会は人数の関係で開催できませんでしたが、毎年開催するようにします。
㉝	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	○			苦情や要望があった際には、職員間で改善策を話し合い、誠実に対応しています。
㉞	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	○			SNS にて活動内容は発信している。 行事予定は事前に保護者へ連絡をしています。
㉟	個人情報に十分注意しているか	○			個人情報は鍵付きロッカーに保管している。利用者様の写真掲載にあたり家族に同意書を頂いています。
㊱	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	○			児童に合ったコミュニケーションを取るように心がけています。
㊲	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか			○	地域とのイベントは行えていない。
㊳	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか		○		マニュアル作成し、職員には周知できているが、保護者にはよく周知できていない。
㊴	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	○			年２回避難訓練を行っています。
㊵	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	○			身体拘束・虐待防止の研修を事業所内で行っています。
㊶	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか	○			身体拘束を行う場合は事前に家族に説明、同意を得たうえで措置を行っています。
㊷	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	○			アレルギー等は事前に聞いて対応しています。
㊸	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	○			ヒヤリハットは都度ミーティングにて共有し、改善案を出しています。